

一宮市の市税業務にRPA

日立システムズが実証実験

日立システムズは今 税業務にRPA（ロボ
月から、愛知県一宮市 ティック・プロセス・
（中野正康市長）の市 オートメーション）を

RPA実証実験に関する連携協定締結式



一宮市との連携協定締結式
（左から大津正俊常務執行役
員、中野市長）

適用し、職員
の業務効率化
を検証する実
証実験を始め
る。実験を通
じて日立シス
テムズは自治
体向けRPA
導入支援の事
業化を目指
し、一宮市は
さらなる住民
サービスの向
上を図る。

実証実験では一宮市
が日立システムズをは
じめとする複数の民間
事業者向けに実証フィ
ールドを提供し、短期
間で様々な市税業務に
RPAを適用する。日
立システムズはこれま
で民間企業を中心に1
00社以上にRPAを
導入してきたノウハウ
を生かし、課題の検証
をしていく。

日立システムズは15
年から、定型業務をR
PAにより効率化する
定型業務自動化支援サ
ービスを発売してき
た。今回、同社の住
民税システムを導入し
ている一宮市と連携

し、市税業務にRPA
を適用する。

具体的には、市民税
異動データ作成での入
力作業において発生す
る職員によるオンライン
入力をRPAを適用
することで、各事務処
理に要する時間を削減
していく。

日立システムズは今
後、実験を通じて得た
知見や課題をもとに、
自治体業務全般に向け
RPAの活用で定型業
務を効率化するサービ
スの提供を検討してい
くとしている。